

京都府 議会だより

発行／京都府議会
編集／京都府議会広報広聴会議

桃山高等学校2年生
堀江 美月さんに題字を
書いていただきました

No.38



京都府議会
ホームページ



Twitter



Facebook

災害と 府議会の歴史



今年に入り、猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症。この困難な状況に打ち勝つため、府議会では府民の皆さまの声を聞き、必要な予算案の議決や、国へ支援を要望してきました。

このように、災害時に迅速に対応できるのは、府議会がこれまでから取り組んできた過去の教訓があるからです。今回は、災害と府議会の歴史について紹介します。

昭和28年 南山城大水害 災害と府議会の 関わりを振り返る



濁流うず巻く棚倉村(現在の木津川市北端)

昭和28年8月14日の夕刻から降り始めた雨は翌15日にかけて降り続き、綴喜郡、相楽郡において豪雨となり、多くの尊い命が失われ、被災者総数は約28,000人に上りました。
この災害を受け、府議会は8月18日、急遽、臨時府会を開催。災害対策に係る5億3,500万円の追加補正予算等を可決するとともに、「京都府会南山城災害対策本部」を設置し、被災地の復旧に向け、国への要望などを行う対策にあたりました。



被災地の視察の様子

平成に入り、豪雨等により 府内各地で自然災害が頻発

「平成26年8月豪雨」では北部地域において8月16日から17日の明け方にかけて、観測史上最多の雨量を記録し、河川の氾濫、土砂崩れにより民家や道路等への被害が発生しました。

府議会では、災害からの早期の復旧・復興を図るため、8月臨時会を開催。本会議の開催に先立ち、建設交通および農工商労働常任委員会がそれぞれ被災地の状況を調査し、被災者の生活再建、中小企業や農業等産業、道路河川などの復旧復興を支援する総額約136億円の補正予算および災害対策に関する意見書を可決しました。



福知山市内の様子



常任委員会での被災地調査



議長が知事と一緒に国へ支援を要望

常に災害リスクをチェック!
**京都府マルチハザード
情報提供システム**

災害情報を選択して、洪水浸水想定区域や避難施設の位置などを見ることができます。



国務大臣を迎え、災害に対処する府会代表



和束の対策本部で状況を調査する議員



臨時府会での黙祷

代表質問
令和2年6月16、17日に
行われた代表質問の主な内容は
次の通りです(質問順)

**京都観光を
回復・発展させるためには**
田中美貴子 府民 宇治市久世郡

質問
京都の観光を着実に回復・発展させるには、府民が京都の良さを再認識する取り組みを進め、府内観光関連事業者に寄り添い、将来の京都観光の需要に結びつける施策が必要と考えるがどうか。

答弁
安心安全の確保とともに、府民の皆さまに府内の素晴らしさを再認識いただく期間、本格的な国内観光振興の準備を進める期間、本格的な国内観光振興に取り組み期間の3段階に分けて施策を展開していく。また、危機克服会議で議論し、新しい観光の実現を図っていく。

**新型コロナウイルス感染症に
特化した病院の確保を**
菅谷寛志 自民 京都市山科区

質問
陽性患者を受け入れる病床数を確保し、軽症者等を隔離・療養する民間宿泊施設数を拡大しているが、進捗状況はどうか。また、感染症に特化した病院を確保すべきと考えるがどうか。

答弁
陽性患者の入院病床数は、重症者用86床を含む431床、また、軽症・無症状者のための宿泊療養施設を開設し、338室確保しているところ。受入病床の集約化を図る感染症に特化した病棟の整備についても調整していく。

**社会福祉施設での
感染発生時の対応等は**
園崎弘道 自民 城陽市

質問
高齢者福祉施設等で感染が発生した場合、他県では施設の病院化を行った例があり、そのほか、施設の中にスペースを確保する、施設外で病床を設ける、医療機関の中でケア体制を整えるといった対策が考えられるがどうか。

答弁
感染が発生した施設には、府内の感染症専門医などで構成するサポートチームを派遣し、感染の封じ込めを徹底して行ってきた。病床や宿泊施設の拡充を進めるとともに、必要な資機材の整備など施設の感染拡大防止の取り組みを支援していく。

**WITHiコロナ社会での
移住促進の取り組みは**
森口亨 自民 京丹後市

質問
本府の「京都府移住の促進のための空き家及び耕作放棄地等活用条例」が本年度末で失効する。感染症の影響により地方移住の流れが進みつつあると考えるが、同条例を今後どのようにしていくのか。

答弁
移住政策を空き家対策や耕作放棄地の活用など限定的に捉えるのではなく、地域振興やまちづくりを進める重要な施策として、抜本的に見直したい。移住政策が地域創生を牽引していくような条例となるよう、検討していく。

**大学生が京都で
学び続けられるように**
馬場紘平 共産 京都市伏見区

質問
感染症や災害など、どのような事態が発生しても、学生が学び続けられる支援が必要。本府も国に授業料半額支援を求め、べきと考えるがどうか。また、本府独自の給付型奨学金や家賃等の補助制度を創設すべきと考えるがどうか。

答弁
各大学では、国の制度である年収380万円未満世帯を対象とする入学金・授業料の減免や、給付型奨学金の手続きを進めているところ。府としては、こうした学生向けの支援が十分活用されるよう、引き続き各種制度の周知に努めていく。

荒巻隆三 自民 東山区

- ▼文化財所有者に対する支援について
- ▼府立医科大学におけるがん最先端医療について

小原舞 府民 舞鶴市

- ▼東京一極集中からの脱却と地方分権の推進について
- ▼安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて

浜田良之 共産 北区

- ▼外需頼み外国人観光客頼みの経済の在り方について
- ▼大学生の経済的負担の軽減について

田島祥充 自民 八幡市

- ▼災害時における効果的な情報提供の在り方について
- ▼八幡市内一級河川の内水排除について

中村正孝 自民 亀岡市

- ▼府民協働型インフラ保全事業と緊急しゅんせつ事業について
- ▼中小企業への資金繰り支援と緊急融資について

石田宗久 自民 左京区

- ▼自然災害発生時における避難所の在り方について
- ▼新型コロナウイルス対応に必要な医療資材の水準や性能について

水谷修 共産 宇治市・久世郡

- ▼大型プロジェクトの城陽市東部丘陵地開発・京都舞鶴港開発について
- ▼洛南病院施設整備計画について

兎本和久 自民 木津川市・相楽郡

- ▼関西文化学術研究都市の取組について
- ▼南部地域の道路整備について

梶原英樹 府民 山科区

- ▼新型コロナウイルスに負けない子育て環境と子どもの夢・希望が実現できる京都府について
- ▼交通崩壊の危機について

諸岡美津 公明 右京区

- ▼オンライン診療について
- ▼GIGAスクール構想について

島田敬子 共産 右京区

- ▼新型コロナウイルス感染症に伴う障害児者福祉施設への支援について
- ▼医療的ケアを必要とする人たちの支援について


堤淳太 府民 長岡京市・乙訓郡

- ▼次年度新規卒業業者等への雇用支援について
- ▼技術スタッフを含む文化芸術関係者の支援について

荻原豊久 自民 宇治市・久世郡

- ▼教育分野における新型コロナウイルスへの対応について
- ▼向島宇治線の移設について

その他の項目は
府議会HPを
ご覧ください。



6月定例会から



令和2年6月11日から6月30日までの20日間の会期で、6月定例会を開催。
5日間の代表・一般質問において知事提出議案をはじめ、府政全般について質問を行い、知事提出議案17件を可決（人事案件は同意）しました。

可決した主な議案

- 京都府府税条例一部改正の件
- 警察署の名称、位置および管轄区域に関する条例一部改正の件
- 府道宇治木屋線道路新設改良工事請負契約締結の件
- 令和2年度京都府一般会計補正予算（第3号）

9月定例会の日程（予定）

- 会期 9月14日（月）～11月2日（月）
- 代表質問 9月17日（木）、18日（金）
 - 一般質問 9月23日（水）、24日（木）、25日（金）
 - 常任委員会 9月28日（月）、29日（火）、30日（水）
 - 特別委員会 10月1日（木）
 - 決算特別委員会 10月7日（水）～30日（金）

代表質問



**感染症を前提とした
複合災害対策を**
村井弘 公明 宇治市・久世郡

質問
本府は、これまで地震や大雨などの複合災害を想定し、防災訓練などを積み上げてきたが、今後は感染症を前提とした複合災害に対応するための避難計画の策定、避難訓練の実施等が必要になると考えるがどうか。

答弁
京都府地域防災計画を改定し、避難所の3密対策などを追加した。今後、市町村の地域防災計画や地域の避難計画が感染症対策を踏まえた内容となるように助言を行い、原子力災害時の住民避難を含め、感染症対策を踏まえた総合防災訓練等を実施し、避難計画等の改善を図っていく。